北海道史と沖縄史を並べて解く

レベル：発展
藤井の日本史

日付　　名前

解き方の手順　①その文が**いつの話か**を先に確かめる　②用語を□**で囲む**　③囲んだ語どうしの**つながり**（誰が・何に・誰へ）に矛盾がないかを見る

1　誤っている文を一つ選ぶ（同じ時代の「北」と「南」）

問1　15世紀から17世紀の北海道と琉球について述べた文として誤っているものを、ア～エから一つ選びなさい。

ア　15世紀、蝦夷ヶ島ではコシャマインの戦いが起こり、琉球では尚巴志が三山を統一した。
イ　琉球王国は、明が海禁政策をとるなかで中継貿易によって栄え、都は首里に置かれた。
ウ　17世紀初め、琉球は薩摩の島津氏に征服されたが、その後も中国への朝貢を続けた。
エ　松前藩は、アイヌとの交易を和人商人に請け負わせる商場知行制を、藩の成立当初からとった。

問2　18世紀末から明治時代の北海道と沖縄について述べた文として誤っているものを、ア～エから一つ選びなさい。

ア　1798年、近藤重蔵らは択捉島を探査し、「大日本恵登呂府」の標柱を立てた。
イ　日露和親条約で、択捉島と得撫島の間が国境とされ、樺太は国境を定めず両国雑居の地とされた。
ウ　1872年に琉球藩が置かれ、1879年には沖縄県が設置された。
エ　沖縄県では、県の設置後ただちに地租改正が行われ、衆議院議員選挙も本土と同じ時期に始まった。

問3　明治時代から戦後の北海道と沖縄について述べた文として誤っているものを、ア～エから一つ選びなさい。

ア　開拓使が置かれ、アメリカ人ケプロンらの指導のもとで北海道の開拓が進められた。
イ　1875年の樺太・千島交換条約で、千島全島が日本領、樺太がロシア領となった。
ウ　サンフランシスコ平和条約で、南西諸島はアメリカの施政権下に置かれた。
エ　沖縄返還協定は、田中角栄内閣のもとで調印された。

2　正しければ◯、誤りなら×

(1)　場所請負制のもとで、和人商人は運上金を納めて、アイヌとの交易や漁場の経営を請け負った。

(2)　琉球王国の成立は、蝦夷地でシャクシャインの戦いが起こるより後のことである。

(3)　1854年の日米和親条約では、下田とともに箱館が開港された。

(4)　1968年、琉球政府の主席が、初めて住民の選挙で選ばれた。

(5)　樺太・千島交換条約によって、北緯50度以南の樺太が日本領となった。

3　古い順に並べる（北と南をまぜて）

次のア～エを、古いものから順に並べなさい。

ア　尚巴志が三山を統一する。　イ　コシャマインの戦いが起こる。　ウ　島津氏が琉球を征服する。
エ　シャクシャインの戦いが起こる。

北海道史と沖縄史を並べて解く

レベル：発展
藤井の日本史

下線の太字が、その文を切る（正誤を決める）ところです。

1　誤っている文を一つ選ぶ

問1　エ　商場知行制は、アイヌとの交易権を**家臣に知行として与える**制度です。**和人商人に請け負わせる**のは、シャクシャインの戦い（1669年）のあとに広がった**場所請負制**。制度の名前と中身がすり替わっています。

問2　エ　沖縄では古い制度が残され、地租改正は**1899年**から、衆議院議員選挙は**1912年**からと、本土より大きく遅れました。

問3　エ　沖縄返還協定（1971年調印・1972年返還）は**佐藤栄作内閣**のときです。内閣の名前で切ります。

2　◯×

(1)　◯　商人は運上金（上納金）を納めて「場所」の経営を請け負いました。

(2)　×　琉球王国の成立は**1429年**、シャクシャインの戦いは**1669年**。琉球王国の成立のほうが**前**です。

(3)　◯　日米和親条約で開港したのは下田と箱館です。

(4)　◯　このとき当選したのが屋良朝苗で、祖国復帰運動が高まるなかでの選挙でした。

(5)　×　北緯50度以南の樺太が日本領になったのは、日露戦争後の**ポーツマス条約**（1905年）。樺太・千島交換条約では樺太は**ロシア領**です。

3　並べ替え

ア → イ → ウ → エ　尚巴志の統一（1429年）→ コシャマインの戦い（1457年）→ 島津氏の琉球征服（1609年）→ シャクシャインの戦い（1669年）。北と南を別々に覚えていると、ここで迷います。

北海道史と沖縄史は、別々の単元として覚えがちです。同じ世紀に北と南で何が起きていたかを一度並べておくと、年代の並べ替えでも、正誤問題の「前・後」でも迷わなくなります。